

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1279 号	氏名	井本 敦子
学位審査委員	主 査	青柳 潔	
	副 査	前田 隆浩	
	副 査	江藤 宏美	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、バングラデシュの出産経験者を対象に骨盤臓器脱、尿失禁、およびその両方と健康関連 QOL との関連を検討したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 骨盤臓器脱については診療記録から、尿失禁についてはインタビューで情報を得た。包括的健康関連 Quality of Life (QOL) 尺度については身体的・精神的健康度の要約得点を算出した。これらのデータを適切な統計学的解析法で解析したもので、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、尿失禁が重症の人は QOL(精神的健康度)が低く、尿失禁に骨盤臓器脱を合併する場合は尿失禁のみよりも、QOL(身体的、精神的健康度)が有意に低かった。QOL 低下の関連要因として、加齢、低教育歴、尿失禁重症度、混合性尿失禁を有することを示し、今後のウィメンズヘルス研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は公衆衛生学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士(医学)の学位に値するものと判断した。</p>			